

③数学へのアプローチ

下記日程 (日曜or祝日)

時間帯: 5/3・6・19は8:30~10:00

7/14・15は12:50-14:20

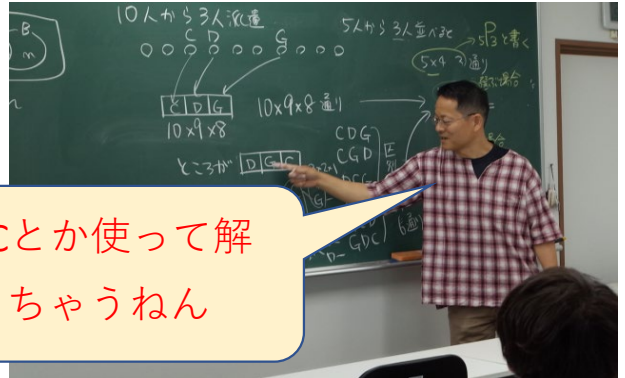
受講料: 1講3300円

対象者: 入試で数学I AII Bを使う生徒

**内容:** 受験生に必ず身につけておいてほしい、数学の問題への取り組み方=アプローチの方法をテーマごとに授業します。受験勉強をするのに、正しい方向性で取り組むのと、誤ったやり方で過ごすのとで大きな差が生じます。文系理系関係なく、受験で数学I AII BとC(ベクトル)を使う生徒には必ず受講してほしいと思います。

日程 テーマ

5月3日	金曜(祝)	確率
5月6日	月曜(祝)	数列
5月19日	日曜	ベクトル
7月14日	日曜	三角関数
7月15日	月曜(祝)	指数対数

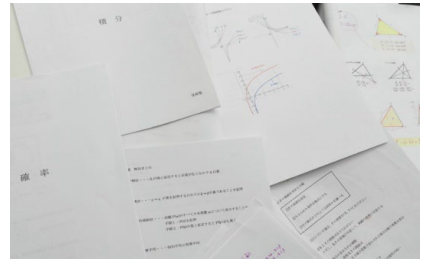


PとかCとか使って解くんとかちゃうねん

受講した生徒の声

- ・ 確率と数列にはおどろかされました
- ・ 確率はPやCという記号を使わなくなりました
- ・ 尾崎塾式数学解法はメリットばかり
- ・ 学校では教わらないような内容が満載でした
- ・ 数学の問題が格段に解きやすくなりました
- ・ そもそもベクトルとは何かを教えてくださいました
- ・ もっと早くこの解法を知りたかった
- ・ 学校でもこの方法で教えて欲しいと思いました

毎回オリジナルのテキスト使用



③ [2017 香川大]

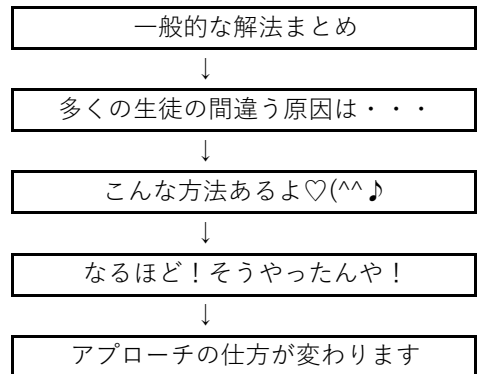
自然数の列を次のように群に分け、第  $n$  群には連続する  $n$  個の自然数が入る

1 | 2, 3 | 4, 5, 6 | 7, 8, 9, 10 | 11, .....  
第1群 第2群 第3群 第4群

- (1) 自然数 29 は第何群に入るか。
- (2) 第  $n$  群に入る最小の自然数と最大の自然数を  $n$  を用いて表せ。
- (3) 自然数 2017 は第何群に入るか。

まず最初にやることは何?

授業の流れ



④化学特講

日程：5/3・6(GW祝日)と5/19(日曜日)

受講料：1講3300円

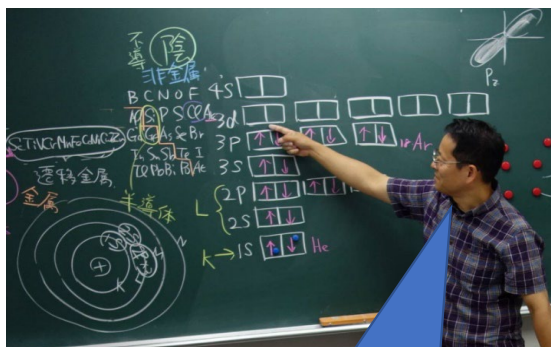
時間帯：10:15~11:45

対象者：入試で化学を使う生徒

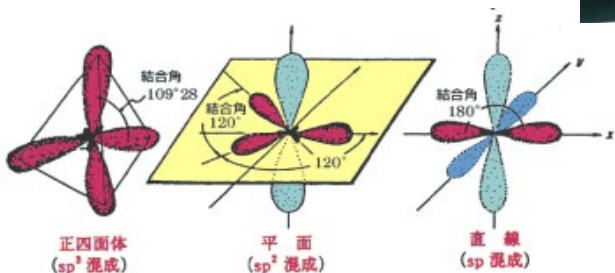
5/3と5/6は文系生徒にも対応

**内容：** 化学を暗記科目と思っている諸君に朗報です。  
膨大な物質や現象を全部意味もわからずに暗記するのは得策ではなく、  
そもそもの原理から納得のいく覚え方をすると応用も可能になります。  
電子配置と酸化還元は「化学基礎」しか使わない文系生徒も受けておま  
しょう。希薄溶液分野は、受験生が特に苦手とする溶液や気液平衡分野の本  
質的意味を考えます。たとえば、蒸発と沸騰の違いを説明できますか？  
化学を入試で使う人は必ず受講して欲しい内容です。

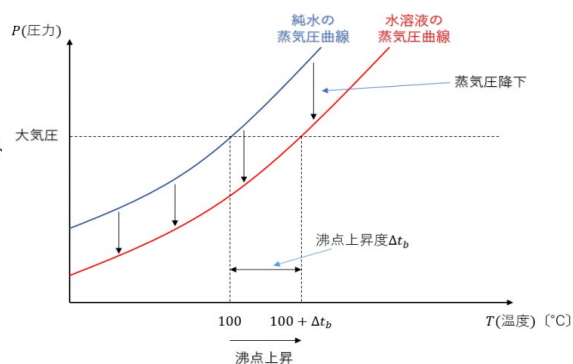
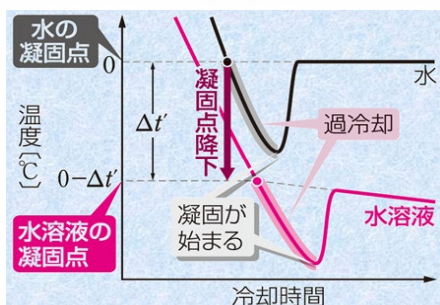
日程	テーマ
5月3日	電子配置
5月6日	酸化還元
5月19日	希薄溶液



熱化学，化学平衡，有機化学は2期に実施予定



周期表の意味が理解できな  
いようでは、お話になりま  
へん！



対象者：入試で物理を使う生徒

7/13と7/14は2年生も受講できます

内容：力学特講1では力学の基本を復習した後、実際の入試問題にどのように立ち向かうかを細かく講義します。

力学特講2は等速円運動，単振動，万有引力の範囲まで扱います。入試で受験生がまちがえやすいところを押さえておきましょう。

電気分野は，まず電場と電位の概念を押さえ，コンデンサーと直流回路の理解へとつなげます。（色鉛筆を持って来てください）

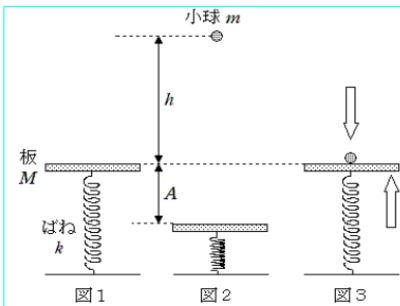
日程 テーマ

7月13日	力学特講1	高2生も受講可能
7月14日	力学特講2	
7月15日	電気分野特講	高3生のみ

すべての力を見つけないと話をはじめられない・・・

熱力学，波動，慣性力は2期に実施予定

ばね定数  $k$  の鉛直に取りつけ、の板を固定し、位置で静止させよう。板を押し下す時に板の中心に質量  $m$  の小球を静かに運動させ、鉛直上方に動いた球を衝突させ、球の大きさと同様に鉛直



電気MAP

オームの法則  $V=RI$

合成抵抗  $R=R_1+R_2+\dots$

合成容量  $\frac{1}{C}=\frac{1}{C_1}+\frac{1}{C_2}+\dots$

コンデンサーの基本式  $Q=CV$

エネルギー

ジュール熱  $Q=IVt=I^2Rt$

静電エネルギー  $W=\frac{1}{2}QV=\frac{1}{2}CV^2=\frac{1}{2}\frac{Q^2}{C}$

電流と電荷の関係  $I=\frac{dQ}{dt}$

抵抗率の温度係数  $\rho=\rho_0(1+\alpha t)$

電圧降下  $V=IR$

電場  $E=\frac{V}{d}$

誘電率  $\epsilon=\frac{Q}{4\pi r^2}$

誘電率  $\epsilon=\frac{\epsilon_0 \epsilon_r}{4\pi}$

静電誘電率  $\epsilon_0=\frac{C}{4\pi k}$

誘電率  $\epsilon_r=\frac{\epsilon}{\epsilon_0}$

電場  $E=\frac{Q}{\epsilon_0 \epsilon_r r^2}$

電位  $V=Ed$

